



2021 年 1 月

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーションセンター

Audi RS Q8

要約版 2

製品ハイライト 5

詳細版 7

- ▶ エクステリアデザイン
- ▶ ライティングデザイン
- ▶ エンジン
- ▶ トランスミッション
- ▶ サスペンション
- ▶ ボディ
- ▶ インテリア
- ▶ 操作コンセプト
- ▶ インフォテインメントと Audi connect
- ▶ ドライバーアシストシステム

内容は予告なく変更することがあります。



要約版

Audi RS Q8

ハイパフォーマンス、多目的対応、そして日常ユースにおける優れた利便性。Audi RS Q8 は、アウディの Q プロダクトラインの頂点に君臨するモデルです。Audi Sport が手掛けるこのハイパフォーマンス SUV クーペは、卓越したドライビングパフォーマンス、他のモデルとは一線を画すデザインとドライブ体験、日常走行における非常に優れた使い勝手を備えています。

Audi Sport GmbH マネージングディレクターのオリバー ホフマンは、次のように述べています。
「Audi RS モデルの 25 年の歴史において、今回初めて真のハイパフォーマンス スポーツカーの遺伝子を備えた大型 SUV クーペをラインナップに導入しました。ツインターボ V8 ガソリンエンジンを搭載した Audi RS Q8 は、最もprestige性の高い RS モデルです」

自信に溢れたスタイル：エクステリアデザイン

RS Q8 は、ハイパフォーマンス スポーツカーの遺伝子を全身で表現しています。数多くの RS 専用デザインが、RS ファミリーの新しいトップモデルの個性的なキャラクターを強化しています。その自信に満ちたフロントフェイスは、八角形シングルフレームグリル、光沢ブラックの RS ハニカムグリル、そして大型サイドエアインテークを特徴としています。

RS Q8 のセールスポイントの一つは、5,010mm の全長と、ボディを視覚的に取り囲むように設置されたマンハッタングレーの RS シルエットです。この大型 SUV クーペは、ボディ同色の RS 専用フェンダーストリップにより幅が拡大（フロント：10mm、リヤ：5mm）されています。これにより、ワイドタイヤを装着するスペースを確保しています。

RS ルーフエッジスポイラーは、クーペスタイルの流れるようなルーファインの印象的なアクセントとなっています。特徴的なリヤライトストリップと、RS を象徴するオーバルテールパイプを統合した RS 専用リヤエプロンが、リヤエンドのスポーティな雰囲気を出し、このクルマの類まれなパフォーマンスを暗示しています。

RS Q8 には、RS 専用のダークベゼルを備えたマトリクス LED ヘッドライトが標準装備となっています。デイトムランニングライトの立体的なライトシグネチャーは、リヤライトと同様に、デジタル世界のキャラクターを表現しています。

圧倒的なパワー：駆動システム

RS Q8 に搭載される 4.0 TFSI は、441kW (600PS) の最高出力と 800Nm の最大トルクを発生します。このクルマは、0~100km/h をわずか 3.8 秒で加速し、RS モデルにふさわしいパフォーマンスを発揮します。

ターボチャージャー付きガソリン直噴エンジンは、重厚でスポーティな V8 サウンドを奏でます。エンジンサウンドは、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより調整することが可能です。48V 主電源システムを備えたマイルドハイブリッドシステム (MHEV) により、この V8 パワーユニットは、最大のパフォーマンスと高い効率を兼ね備えています。このエンジンに搭載されているもう一つの効率化テクノロジーが、シリンダーオンデマンド (COD) シス



テムです。標準装備される 8 速ティプトロニックは、quattro フルタイム 4 輪駆動システムにパワーを伝達します。

アダプティブ：サスペンション

可変ライドハイト、短いオーバーハング、quattro フルタイム 4 輪駆動システム、ヒルディセントコントロールを備えた Audi RS Q8 は、たとえドライブの途中で舗装が途切れても走行を続けることができます。標準装備される電子制御ダンパー付アダプティブエアサスペンションスポーツは、サーキットやオフロード走行にも対応しています。RS 専用のダンパーチューニングは、快適性重視からスポーツ性重視まで、非常に幅広い設定を可能にしています。

標準装備されるオールホイールステアリング（4 輪操舵）は、高トルクの電動スピンドルドライブと 2 本のトラックロッドを介してリヤホイールを動かします。ステアリングは、路面の状態をドライバーに伝え、ダイレクトな反応を特徴としています。このステアリングは、ニュートラルポジションでも、13.3 : 1 のスポーティなレシオが設定されています。

ドライバーは、アウディドライブセレクトを介して、このハイパフォーマンス SUV クーペのキャラクターを変更することができます。ドライバーは、オフロード及びカスタマイズ可能な RS 専用の「RS1」及び「RS2」モードを含む、8 つのプロフィールを切り替えることができます。RS 専用モードは、ステアリングホイールに新たに追加された「RS MODE」ボタンを操作して、直接呼び出すことが可能です。

RS Q8 は、295/40 タイヤを搭載した 10 スポーク スターデザインの 22 インチアルミホイールを標準装備しています。これは、工場出荷時にアウディの市販モデルに装着されるホイールとしては、過去最大のサイズです。オプションとして、RS 専用デザインの 23 インチホイールも用意されています。RS ブレーキシステムのキャリパーのカラーは、ブラックが標準ですが、オプションの RS セラミックブレーキを装着した場合、キャリパーはアンスラサイトグレー、レッド、ブルーから選択可能です。

クリア&フルデジタル：インテリア

RS Q8 のインテリアは、クリーンなデザインを特徴としています。スリムなインストルメントパネルと水平基調のラインが広々とした開放感を演出しています。ダッシュボード中央には、MMI タッチレスポンスディスプレイが設置されています。ブラックパネルのディスプレイは、イグニッションスイッチをオフにすると、ブラックの装飾トリムパネルに溶け込んで、ほとんど見えなくなります。

走行に関する情報は、標準装備されるアウディバーチャルコックピットのディスプレイに表示されます。アウディバーチャルコックピットには、専用の RS ディスプレイが設定され、追加の情報及び車両データを提供します。シフトインジケータは、エンジン回転数がレブリミットに達した場合、ドライバーにシフトアップを促します。

パフォーマンスレーテッドレザーを使用したフラットボトムステアリングホイールには、マルチファンクションボタンが設置されています。ドライバーは、専用の RS モードボタンを使用して、アウディセレクトの「RS1」及び「RS2」モードを選択することができます。これらのモードを有効にすると、アウディバーチャルコックピットが RS 専用ディスプレイに自動的に切り替わります。



Audi RS Q8 は、卓越したスポーツ性と日常ユースにおける優れた使い勝手を組み合わせています。インテリアも例外ではありません。室内には、乗員 5 人分の十分なスペースが確保されています。定員 3 名のリヤシートには、最大 10cm のスライド機能が標準装備されています。標準時のラゲッジコンパートメント容量は 605ℓ ですが、リヤシートの背もたれを折りたたむと、その容量を 1,755ℓ に拡大することができます。電動式テールゲートが標準装備され、足の動きでテールゲートを開閉できるジェスチャーコントロールもオプション設定されています。

インテリアは、スポーティさとラグジュアリーな雰囲気を巧みに融合しています。アルカンターラ/レザー素材の RS エンボス加工が施されたスポーツシートは、アスリートを連想させる Audi RS Q8 の雰囲気に完璧にフィットしています。バルコナ素材のベンチレーション（フロント）とマッサージ機能を備えた S スポーツシートは、さらに豪華なオプションです。17 スピーカー 3D サウンド付き Bang & Olufsen アドバンストサウンドシステムは最高の音質を実現しています。

Audi Sport は、Audi RS Q8 用に、包括的な快適性及びコネクテッド機能と、様々なドライバーアシストシステムを提供しています。



製品ハイライト

Audi RS Q8

エクステリアデザインとライティングテクノロジー

- RS 専用エクステリアデザインを備えたハイパフォーマンス SUV クーペ：
全長 5,010mm、全幅 2,000mm、全高 1,700mm。
- フェンダーストリップによるボディ幅の拡大：全幅を 5mm 拡大。
- RS 専用ラジエーターグリルと RS ハニカムグリルを備えた八角形シングルフレームグリル。
- 両サイドに楕円形テールパイプを配した RS エキゾーストシステム。
- 23 インチホイールを標準装備。
- RS 専用のダークベゼルを備えたマトリクス LED ヘッドライトが標準装備。フロントライトとリヤライトの RS 専用アニメーション。
- 左右のリヤライトを繋ぐ印象的なライトストリップ、オプションの RS 専用アニメーション機能。
- 3 つのスタイリングパッケージを選択すると、グロスブラック、カーボン、マットアルミニウムのハイライトがエクステリアに追加。
- 多彩なボディカラー。
- アウディエクスクルーシブプログラムを通じて利用可能な、追加のカスタマイズオプション。

エンジン及びトランスミッション

- 強化された RS パフォーマンス、より高い効率：4.0 TFSI ツインターボ V8 エンジンの最高出力は 441kW (600PS) /6,000rpm、最大トルクは 800Nm/2,200~4,500rpm。
- 0~100km/h 加速はわずか 3.8 秒、0~200km/h 加速は 13.7 秒。
- 48V の主電源システムをベースにしたマイルドハイブリッドシステム (MHEV)、エンジンを停止した状態でコースティング可能、素早い再始動、アイドリングストップ機能の作動範囲を拡大。
- 低負荷走行時に 8 つのシリンダーのうち 4 気筒を一時的に休止するシリンダーオンデマンドシステム (COD)。
- 8 速ティプトロニック及び quattro フルタイム 4 輪駆動システムを介してパワーを伝達。

サスペンション

- フロントとリヤには、軽量設計の 5 リンク式サスペンションを採用。
- オールホイールステアリングを標準装備。
- RS アダプティブエアサスペンションを標準装備。
- エアサスペンションは、車高を最大 90mm 変化させることが可能。
- オフロードモードを含む 8 つのプロファイルを備えたアウディドライブセレクトにより、幅広い走行特性を実現。
- 「RS1」及び「RS2」ドライブモードは、MMI タッチレスポンスを介してカスタマイズ及び保存し、ステアリングホイールに設置された「RS MODE」ボタンからすばやくアクセス可能。
- オプションのスポーツディファレンシャルは、左右リヤホイール間で駆動トルクを配分可能。
- 優れた制動力：10 ピストン RS セラミックブレーキシステム、大径セラミックディスクのサイズは、フロントが 440mm、リヤが 370mm。



インテリアデザイン、カラーと素材

- クリーンなスタイルを特徴とするインテリア、アーキテクチャーと操作コンセプトを巧みに融合、スリムなインストルメントパネル、水平基調のダッシュボード。
- 8.6 インチ/10.1 インチの 2 つの大型タッチスクリーンにより、従来のボタンやスイッチを大幅に削減。
- ベンチレーション（フロント）とマッサージ機能を備えたハニカムパターンのヴァルコナレザ―RS スポーツシートをオプション設定。
- ラゲッジコンパートメント容量は 605~1,755ℓ。

操作系、インフォテインメント、ドライバーアシストシステム

- 2 つのディスプレイに加えて、マルチファンクションステアリングホイールを備えたデジタル MMI タッチレスポンス コントロールシステム。
- RS 専用表示が加わった 10.1 インチ インフォテインメントディスプレイ：温度モニター、タイヤ空気圧モニター、G メーターディスプレイを備えた RS モニター。
- G メーター、シフトライト、油温、タイヤ空気圧、タイヤ温度、加速度、ラップタイム測定といった RS 専用ディスプレイを備えたオーディバーチャルコックピット。
- アダプティブクルーズアシスト（ACA）をはじめ、30 を超えるドライバーアシストシステムを集中制御するセントラルドライバーアシスタンスコントローラー（zFAS）。



詳細版

Audi RS Q8：最もスポーティな Q モデル

Audi RS Q8 は、Q プロダクトラインの頂点に君臨するモデルです。このニューモデルは、RS モデルならではのパフォーマンス、プレミアムクーペのエlegantなスタイル、SUV の多用途性を兼ね備えています。エアサスペンションを標準装備することにより、サーキットでもオフロードでも、思いのままに走ることが可能です。エアサスペンションは、この大型 SUV クーペの車高を最大 90mm 変化させることができます。

エクステリアデザイン

Audi RS Q8 は、クリアな造形とアスリートのように張り詰めたボディパネルにより、静止状態でも、その圧倒的なパワーを全身で表現しています。数多くの RS 専用デザインが、RS ファミリーの新しいトップモデルの個性的なキャラクターを強化しています。印象的で自信に満ちたフロントフェイスのハイライトは、光沢ブラックの RS ハニカムグリルを備えた八角形シングルフレームグリルです。このグリルには、大型サイドエアインテークとハイグロスブラックのブレードが組み合わされ、Audi Sport が手掛けるこの全長 5,010mm の大型 SUV クーペに、アスリートのようなキャラクターが生み出されています。

RS Q8 は、どの角度から見ても鍛え上げられた筋肉質なフォルムを特徴としています。この印象は、視覚的にクルマを取り囲むように設置された、マンハッタングレーの RS シルエッジによってさらに強化されています。ワイドタイヤを装着するために、ボディ同色の RS 専用フェンダーストリップにより、幅が拡大（フロント：10mm、リヤ：5mm）されています。23 インチの大径ホイールは、Audi RS Q8 の印象的な外観をさらに強調します。

フレームレスドアは、ボディ全長にわたって伸びるルーフを視覚的に低く見せる効果があります。クーペのようなラインを描くルーフは、前方に向かって傾斜した D ピラーへと流れ込んでいます。その一方で、ホイールアーチ上には、力強い quattro ブリスターが設置されています。リヤエンドを見ると、特徴的なライトストリップと RS ルーフエッジスポイラーが印象的です。このスポイラーは、リヤアクスルにダウンフォースを発生させ、高速走行時の安定性を高めます。ハイグロスブラックのディフューザークリップを備えた RS 専用リヤエプロンと、RS 専用楕円テールパイプが、さらにスポーティな雰囲気を出しています。

RS Q8 は、幅広いカスタマイズオプションを自由に組み合わせ、個性的なクルマに仕上がることが可能です。RS Q8 には、多彩なボディカラーが用意されています。このうち 1 色がソリッドカラー、残りの 8 色はメタリックまたはパールエフェクト仕上げとなります。ドアミラーハウジングはアルミニウムルックが標準で、カーボン/ブラックスタイリングパッケージを選択すると、ドアミラーハウジング、ラジエーターグリル、ブレード、ディフューザークリップ、に印象的なアクセントが追加されます。



ライティングデザイン

遠くから見ると、上下に分割されたヘッドライトは、非常にスリムでフラットに見えます。上部セクションには、デイトタイムランニングライトとロービームなどの機能が一体化されています。ハイビームはその下にレイアウトされ、表面がダーク仕上げとなり、後方にオフセットされています。ヘッドライトは2つの異なるLEDヘッドライトを選択することができます。

RS専用のダークベゼルを備えたマトリクスLEDヘッドライトが標準装備。それぞれ12のセグメントを備えたりヤライトにも、同様のグラフィックが採用されています。左右のりヤライトは、奥行きを感じさせ、車両の幅広さを強調する印象的なライトストリップによって接続されています。

エンジン

最高出力 441kW (600PS) /6,000rpm、最大トルク 800Nm/2,200~4,500rpm を発生する Audi RS Q8 の V8 エンジン、RS モデルならではの印象的なパフォーマンスを提供します。Audi Sport が手掛けるこの直噴ガソリンターボエンジンを搭載した大型 SUV クーペの 0~100km/h 加速はわずか 3.8 秒で、0~200km/h 加速は 13.7 秒です。最高速度は電子的に 250km/h に制限されていますが、ダイナミックパッケージプラスを装備すると、最大 305km/h に引き上げることができます。その高性能にもかかわらず、このパワーユニットは、Euro 6d-TEMP 排出ガス規制に適合し、WLTP サイクルにおける燃料消費は 12.1ℓ/100km、CO₂ 排出量は 276g/km に抑えられています。

魅力的なサウンド：V8 点火順序とデュアルエキゾーストシステム

4.0 TFSI の点火順序は 1-3-7-2-6-5-4-8 で、スポーティで重厚なサウンドを奏でます。他の RS モデルと同様、デュアルエキゾーストシステムは、左右 2 本出しの楕円テールパイプを特徴としています。ドライバーは、オーディオドライブセレクトシステムを使用してエンジンサウンドを変化させることができます。ブラックテールパイプを備えたオプションの RS スポーツエキゾーストシステムは、さらに印象的なサウンドを提供します。



Audi RS Q8	4.0 TFSI
排気量 (cc)	3,996
最高出力 kW (PS) /rpm	441 (600) /6,000
最大トルク Nm/rpm	800/2,200~4,500
最高速度 (km/h)	250 (280/305)
加速 0~100km/h (秒)	3.8
燃料消費量 (複合モード) ℓ/100 km	12.1*
CO ₂ 排出量 (複合モード) (g/km)	277~276*
駆動システム	quattro ドライブ
トランスミッション	8 速ティプトロニック

V8 エンジンのバンク角は従来通りの 90°で、排気量は 3,996cc です (ボア x ストローク : 86.0 x 86.0mm)。クランクケースは鋳造アルミニウム製で、重量はわずか 39.1kg です。シリンダー側面には、プラズマ溶射によって 150μm の鉄コーティングが施され、摩擦と摩耗を最小限に抑えます。また、V バンク中央に配置された電子制御バルブが、ピストンの冷却に必要なマップ制御式のピストンスプレーノズルを調整します。

オイル経路は、完全な可変制御式ポンプによって駆動され、エンジンブロックとシリンダーヘッド用に分割されています。このレイアウトにより、非常に急な加速/減速時や、スポーティなコーナリング時でも、確実にオイルを供給することが可能になっています。オン/オフが切り替え可能なウォーターポンプは、エンジンが素早く作動温度に達するように、クーラント温度が 80°C 以上になると作動します。バルブギアのチェーンは、ギア付きの中間シャフトによって駆動されます。このシャフトは、ウォーターポンプも駆動します。インテークカムシャフトとエキゾーストカムシャフトは、すべての作動状況でシリンダーを最適に充填するため、50°の範囲で調整可能です。各シリンダーバンクには、最大 250bar の圧力を生成する直噴用高圧ポンプによって燃料が供給されます。燃焼室の中央に配置されたインジェクターは、冷間時の始動からフルロードに至るまで、それぞれの要件に応じた専用のストラテジーに従って、7 つのノズルから燃料を噴射します。

パワフル：2 基のツインスクロールターボチャージャー

4.0 TFSI は、2 基のツインスクロールターボチャージャーにより、低速域から強大なトルクを発生します。各ターボチャージャーは、各シリンダーバンクに最大 1.4bar のブースト圧 (相対値) を供給します。この高いブースト圧により、より多くのエアが燃焼室に流入し、シリンダーの充填レベルが向上します。これにより、出力及び効率が向上します。この V8 エンジンは、シリンダーヘッド外側に吸気側が設定され、内側には排気側が設定されています。これにより、ターボチャージャーと最適化されたインタークーラーを、エンジン側面外側の通常の間所ではなく、90°V 型エンジンのシリンダーバンク内側に配置することが可能になりました。このレイアウトにより、排ガス経路が短くなり、エアフロー損失が最小化され、自然なエンジンレスポンスが実現しています。高温部品を効果的に断熱することにより、V バンク内側の熱的安定性を確保しています。圧縮比は 9.7 : 1 です。



パフォーマンスと効率：マイルドハイブリッドシステム（MHEV）とシリンダーオンデマンド（COD）

Audi RS Q8 のツインターボ V8 は、最高のパフォーマンスと効率を兼ね備えています。マイルドハイブリッドシステム（MHEV）は、48V 主電源システムをベースにしています。このシステムを中心となるコンポーネントは、クランクシャフトに接続されたベルト駆動式オルタネータースターター（BAS）です。BAS は、減速及び制動時に最大 12kW の電力を回生して、コンパクトなりチウムイオンバッテリーに供給します。ドライバーが 55~160km/h の速度で走行中にアクセルペダルから足を離した場合、ドライブマネージメントシステムは、走行状況及びオーディオドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムで選択されたモードに従って、エネルギーを回生するか、エンジンを停止して最大 40 秒間コースティング（惰性走行）するかのいずれかを選択します。ベルト駆動式オルタネータースターターは、アクセルを踏み込むと瞬時にエンジンを再始動します。MHEV テクノロジーにより、22km/h 以下の速度で、スタート/ストップ機能を作動させることが可能になりました。マイルドハイブリッドシステムは、快適性を向上するためにカメラセンサーに接続されており、停止時には、たとえブレーキペダルを踏んでいても、前方車両が動き出したことをフロントカメラが検知すると、エンジンが始動します。

MHEV コンポーネントの相互作用により、乗り心地が向上し、日常走行において 100km 走行あたり最大 0.8ℓ の燃料を削減します。

また、シリンダーオンデマンド（COD）システムが、さらなる効率性を実現しています。高めのギアが選択され、エンジンが低～中負荷状態の場合、燃料噴射と点火を停止し、吸気バルブと排気バルブを閉じることにより、2 番、3 番、5 番、8 番シリンダーを休止します。4 気筒モードでは、高まる負荷に対応するようバルブの作動ポイントが変更され、効率が向上します。休止したシリンダーは、ほとんどパワーの損失を発生することなく、ガススプリングのように作動を続けます。休止しているシリンダーは、ドライバーがアクセルペダルを踏むとすぐに再作動します。8 気筒への切り替えは、わずか数ミリ秒で行われるため、ドライバーや乗員が気づくことはありません。

トランスミッション

4.0 TFSI には、ローンチコントロール機能を備え、パワーの伝達を素早くつなぐことができる 8 速ティプトロニックが標準で組み合わせられています。コースティング時や惰性走行時には、セントラルトランスミッションのクラッチが開き、ドライブシャフトを切り離します。電動オイルポンプにより、エンジン停止状態でコースティングしている時でも、ティプトロニックはエンジン再始動に必要なギアを選択し、締結することができます。オフロードコースに対応したベンチレーション機能も採用されています。

4.0 TFSI の V8 パワーは、quattro フルタイム 4 輪駆動システムを介して路面へと伝達されます。プラネタリーギアを中心とするセンターディファレンシャルは、純粋な機械式システムであり、通常は 40:60 の比率でフロントアクスルとリヤアクスルにパワーを配分します。スリップが発生すると、トラクションがかかっているアクスルにより多くのトルクが自動的に配分されます。



この場合、駆動力の最大 70% をフロントホイールに、最大 85% をリヤホイールに配分することができます。

ホイールセレクトトルクコントロールは、Audi RS Q8 の安全かつ俊敏なハンドリングを実現します。オプションの quattro スポーツディファレンシャルは、スポーティなコーナリング中に、必要に応じて左右のリヤホイール間に駆動トルクを配分します。このアクティブトルクベクタリングにより、トラクション、スタビリティ、ダイナミクスが向上します。

サスペンション

ワインディングロードでは優れたレスポンスを、高速道路では高い安定性を、オフロードでは卓越した信頼性を発揮。Audi RS Q8 のサスペンションは、様々な条件における最高の特徴を融合させています。フロント及びリヤアクスルに採用されている 5 リンク構造は、縦方向と横方向の力を個別に処理します。リンケージとサブフレームは、その大半がアルミニウム製です。この SUV クーペのトレッドは、フロントが 1,685mm、リヤが 1,695mm です。

可変車高調整、短いオーバーハング、quattro フルタイム 4 輪駆動システム、ヒルディセントコントロールを備えた RS Q8 は、たとえドライブの途中で舗装路が途切れても、自信を持って走行を続けることができます。標準装備される電子制御ダンパー付アダプティブエアサスペンションスポーツは、サーキットやオフロード走行にも対応しています。RS 専用のダンパーチューニングにより、快適性重視と、スポーティな走り重視の間で、非常に幅広い設定を実現することが可能になっています。

エアサスペンションは、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムを介して、4 種類のモードを選択することができます。ドライバーの選択及び走行状況に応じて、最大で車高を 90mm 変化させることができます。30km/h までの速度であれば、ドライバーは、車高を最大 50mm 高めることができます。速度が上昇すると、サスペンションは段階的に車高を下げます。これにより空気抵抗が減少し、ダイナミックなハンドリングを向上させることができます。160km/h 以上の速度に達した場合、またはアウディドライブセレクトでダイナミックモードを選択した場合、車高は標準レベルよりも 40mm 低くなります。駐車すると、標準レベルよりも車高が 65mm 下がり、乗降性が高まります。

アウディドライブセレクトでオフロードモードを選択すると、エレクトロニックスタビライゼーションコントロールは、自動的にスタビリティ、トラクション、ブレーキングの各コントロールモードをオフロード走行に最適化させるだけでなく、標準装備されるヒルディセントコントロールシステムも作動可能な状態になります。ヒルディセントコントロールは、勾配 6% を超える急坂を下る際に、自動的にブレーキをかけて速度を一定に保ちます。エレクトロニックシャシープラットフォームは、車両の傾斜角を取得し、その情報を MMI ディスプレイに表示します。Audi RS Q8 のアプローチアングル（フロント）は 21.6°、デパーチャーアングル（リヤ）は 26.2°です。

オン・ザ・レール感覚：エレクトロメカニカル アクティブロールスタビライゼーション

前後アクスルに設置されたスタビライザーの左右シャフト（ハーフ）間には、コンパクトな電気モーターとトランスミッションが設置されています。直進走行時に、2 つのハーフは分離されてい



ます。その結果、左右のホイールは互いに独立して作動させることができます。これにより、荒れた路面におけるバネの振動を低減して、乗り心地を向上させます。一方コーナリング中は、最適なロール補正に重点が置かれます。そのため、スポーティに走行する場合には、左右のスタビライザーが連結され、捻じれに対する反発力を発揮します。スタビライザーがスプリングの圧縮力に逆らう形で作用することにより、コーナリング時の車両の傾きを大幅に低減します。エレクトロメカニカル アクティブロールスタビライゼーションは、48V 主電源システムに統合され、回生システムとしても機能します。車両が減速すると、電気モーターがエネルギーを回生します。この電気エネルギーは、リチウムイオンバッテリーに蓄えられます。

ボディ

俊敏な取り回しと高い安定性：標準装備されるオールホイールステアリング

標準装備されるオールホイールステアリング（4 輪操舵システム）は、高トルクの電動スピンドルドライブと 2 本のトラックロッドを介してリヤホイールを動かします。低速域では、より優れた取り回し性を実現し、回転径を縮小するため、リヤホイールはフロントホイールとは反対方向に最大 5°まで回転します。高速域では、フロントホイールと同じ方向に最大 1.5°操舵することによって、素早い車線変更時に安定性を向上させます。この場合、リヤホイールもハンドルを切った方向に移動します。

ステアリングのチューニングは、サーキット走行を念頭に置いて調整されています。フロントアクスルのラバー/メタルマウントは、スポーティな走行のために最適化され Audi Q8 のベースモデルよりも硬めに設計されています。これにより Audi Sport が手掛ける SUV クーペは、感覚的にもよりダイレクトなステアリングレスポンスを実現しています。ニュートラルポジションでも、ステアリングは 13.3 : 1 のスポーティでダイレクトなレシオが設定されています。

「RS MODE」ボタン：ダイナミックなハンドリング用

オーディオドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより、Audi RS Q8 の走行特性を変化させることができます。システムには 8 つのプロフィール（コンフォート、オート、ダイナミック、エフィシェンシー、オールロード、オフロード、個別に設定可能な RS 専用の RS1 及び RS2）が用意されています。「RS1」及び「RS2」は、ステアリングホイールに設置された「RS MODE」ボタンを介して、直接呼び出すことができます。その結果、ドライバーは、MMI タッチレスポンスを操作しなくても、「RS1」、「RS2」、及び最後に選択したドライブセレクトのモードを簡単に切り替えることができます。オーディオドライブセレクトは、選択されたモードに応じて、エンジンとトランスミッションの制御、パワーステアリング、エアサスペンション、オールホイールステアリング、エンジンサウンド、オートマチックエアコンディショナーなどの特性を変化させます。「RS2」モードでは、ボタンを押すだけでエレクトロニックスタビライゼーションコントロール（ESC）をスポーツモードに切り替えることができます。また、常にこの設定を呼び出すことができるように、システムに保存することもできます。サーキット走行などを行う場合は、3 秒以上ボタンを押し続けると、エレクトロニックスタビライゼーションコントロールの機能を完全にキャンセルすることができます。



高度なネットワーク：エレクトロニックシャシープラットフォーム

調整可能なサスペンションシステムの制御機能は、エレクトロニックシャシープラットフォーム (ECP) のコントロールユニットに組み込まれています。システムは高度にネットワーク化され、最高レベルの精度によって協調的に作動します。これにより、減衰力の調整は、わずか数ミリ秒単位で行われます。ECPは、セントラルサスペンションコントローラーとして機能し、車両の挙動や関連する各種システムからの主要なデータを収集します。インテグラルダイナミックハンドリングコントローラーは、これらのデータを活用して、各コンポーネントの理想的な機能を計算します。

アウディ市販モデル最大：23 インチホイールを標準装着

Audi RS Q8 は、10.5J X 23 5Y スポーク 23 インチアルミホイールを標準装備しています。これは、アウディ市販モデルの工場装着ホイールとしては、これまで最大のサイズです。

この SUV クーペのフロントアクスルには、10 ピストン固定キャリパーブレーキシステムが装備され、卓越したブレーキ性能と高い安定性を提供します。内部ベンチレーション機能と穴あきタイプのベンチレーテッドディスク（直径：フロント 420mm、リヤ 370mm）を備えた RS ブレーキシステムのキャリパーカラーは、ブラックが標準となります。

非常に安定した制動力と優れた耐久性：RS セラミックブレーキシステム

完全に新開発されたオプションの RS セラミックブレーキシステムは、アンスラサイトグレー、レッド、ブルーのキャリパーカラーを選択することができます。ディスクのサイズは、フロントが 440mm、リヤが 370mm です。セラミックディスクは、非常に強力かつ安定した制動力を発揮し、高い耐久性を備えています。エアデフレクターエレメントは素早く熱を放散し、耐フェード性を向上させます。スチール製ブレーキシステムと比較した場合、RS セラミックブレーキシステムは 34kg 軽量なため、バネ下重量が削減され、乗り心地がさらに向上します。

集中的な開発作業により、ニュルブルクリンクのラップレコードを記録

開発作業の一環として、Audi RS Q8 は、ニュルブルクリンクのノルドシュライフェ（北コース）で、18,000km にわたって継続的にテストが実施されました。プロのレーシングドライバー兼アウディ テストドライバーのフランク ステップラーは、2019 年の秋に、市販 SUV モデルによるラップレコードを更新しました。ステップラーは、全長 20.832km のノルドシュライフェで、7 分 42 秒のラップタイムを出し、Audi RS Q8 の類まれなパフォーマンス、限界走行における優れたコントロール性、サスペンションシステムの適切なチューニングを証明しました。

インテリア

RS Q8 のインテリアは、クリーンなデザインを特徴としています。ヘッドライニングにはブラックのクロスを採用して、その下のすべてのエレメントは、理論的かつ調和の取れたカラーでまとめられています。ヘッドライニングは、オプションで、アルカンターラ ブラックを選択することも可能です。

スリムなインストルメントパネルと水平基調のラインが、広々とした雰囲気を出しています。



ダッシュボード中央には、最上位システムの MMI タッチレスポンスディスプレイが設置されています。ブラックパネルのディスプレイは、イグニッションスイッチをオフにすると、ブラックの装飾トリムパネルに溶け込んで、ほとんど見えなくなります。室内における、もう一つの重要なデザイン要素は、幅の広い左右対称のセンターコンソールです。コンソールのフレームは、“アルミニウムレース”と呼ばれるメタリックなデザインエレメントで装飾され、Audi RS Q8 のスポーティなキャラクターを強調しています。

スポーティなラグジュアリー：ベンチレーション機能付き RS スポーツシート

アルカンターラ/レザー素材の RS エンボス加工が施されたスポーツシートは、アスリートを連想させる Audi RS Q8 の雰囲気完璧にフィットしています。バルコナ素材のベンチレーション（フロント）とマッサージ機能を備えた S スポーツシートは、さらに豪華なオプションです。

ディテールへのこだわり：RS 専用インテリア

Audi RS Q8 のインテリアには、ステアリングホイールとセレクターレバーに RS エンブレムが装着されています。同様に、照明付きフロントドアシルトリムにも、RS Q8 ロゴが配置されています。フロント及びリヤドアに設置されたロゴプロジェクターは、ドアを開くと Audi Sport のエンブレムを地面に投影します。パフォーレーテッドレザーを使用したフラットボトムステアリングホイールには、マルチファンクションボタンが含まれています。ドライバーは、専用の RS モードボタンを使用して、オーディオセレクトの「RS1」及び「RS2」モードを選択することができます。これらのモードを有効にすると、オーディオバーチャルコックピットが RS 専用ディスプレイに自動的に切り替わります。

個性的：RS デザインパッケージ、インレイ、拡張レザーパッケージ

2 つの RS デザインパッケージには、ニーパッド、ステアリングホイールリム、フロアマット、セレクターレバー、シートベルトのエッジに、レッドまたはグレーのコントラストステッチが配されています。どちらのデザインパッケージを選択しても、センターコンソール、セレクターレバー、RS スポーツレザーステアリングホイールの張地は、アルカンターラとなります。

その他のオプションには、カーボンマット、グレーオーク、アルミニウムスペクトルのインレイが含まれます。拡張レザーパッケージを選択すると、アップワードパネルにもレザーが採用され、さらに高級感のある雰囲気が演出されます。

ダイナミックライティング：LED アンビエントライティング

RS Q8 のコンツァーアンビエントライティングパッケージは、夜間にインテリアの立体的な造形を照らし出し、高品質な素材を強調します。アンビエントライティングにより、ダッシュボードとセンターコンソールは空中に浮かんでいるような印象を与えます。ドアに設置された光源はスペース感を強調します。コンツァーアンビエントライティングは、センターコンソールとドアパネルの主要ラインに沿って設置され、30 色から選択することが可能です。

広々とした室内：多彩なシートアレンジ

RS Q8 のホイールベースは 2,995mm に設定され、5 名の乗員用の十分なスペースを提供します。定員 3 名のリヤシートには、最大 10cm のスライド機能が標準装備されています。このクルマは、広い収納コンパートメントとポケットを備え、特にドアには大きな収納スペースが設けられ、長距離ドライブにも対応しています。インテリアの収納スペースは、合計で 14ℓ を超えています。



Audi RS Q8 のラゲッジコンパートメント容量は、標準で 605ℓ ですが、リヤシートの背もたれを折りたたむと最大 1,755ℓ まで拡大することができます。電動式テールゲートが標準装備され、足の動きでテールゲートを開閉できるジェスチャーコントロールもオプション設定されています。電動式ラゲッジコンパートメントカバーも、便利なオプションです。テールゲートを開放すると、ガイドレールに装着されたカバーが引き込まれ、ゲートを閉じると再びカバーがラゲッジコンパートメントを覆います。

操作コンセプト

アウディバーチャルコックピットの RS ルックは、Audi RS Q8 のイメージと完全に一致しています。ドライバーは、クラシックビューとインフォテインメントビューのどちらかを選択することができます。どちらのビューを選択しても、レッドのグラフィックが採用されます。RS 専用のビューには、タイヤ空気圧、タイヤ温度、トルク、パフォーマンス、加速、ラップタイム、G フォースに関する情報が提供されます。シフトインジケータは、エンジン回転数がレブリミットに達した場合、ドライバーにシフトアップを促します。インテリアの中央モニターには、「RS モニター」ディスプレイを介して、駆動システム及びシャシーコンポーネントの温度状況、最大 G フォース、タイヤ空気圧と温度に関する情報が表示されます。

ドライバーアシストシステム

RS Q8 には、幅広いアシストシステムが用意され、可能な限りリラックスした安全な走行を実現しています。アウディプレセンスベーシック及びアウディプレセンスフロントを含むいくつかの安全システムは、標準装備されています。

アダプティブクルーズアシスト (ACA) は、前後方向及び左右方向のガイダンスを提供することにより、長距離走行をサポートします。この機能は、アダプティブクルーズコントロール、トラフィックジャムアシスト、アクティブレーンアシストを統合しています。

衝突回避アシスト、フロントクロストラフィックアシスト、リヤクロストラフィックアシスト、エグジットワーニング、レーンチェンジアシストにより、市街地走行時の安全を確保しています。サラウンドビューカメラやカーブストーンアシストによって、見通しの悪い交差点の映像や、ホイールの詳細な映像を確認することができます。このシステムのハイライトは、視点を自由に変えることができる 3D ビューです。